

株式会社富樫縫製

〒 969-1404 福島県二本松市油井字谷地 20 番地 2 TEL. 0243-23-5440 FAX. 0243-23-5450

●代表者：代表取締役 富樫三由 ●設立：昭和 45 年 12 月
●資本金：3,000 万円 ●従業員：60 名 ●URL：http://togashi-h.com/

「鉄以外なんでも縫えます」が誇り。 縫製をトータルプロデュース



自動延反機と自動裁断機

きっかけ・課題

当社では、大手メーカーとチーム MD（マーチャンダイジング）を組み、サプライチェーンマネジメントや海外ネットワークの構築、またアパレル、スポーツメーカーにおいて新カテゴリ・新ブランドの立ち上げにおけるプロジェクトに携わっています。

近年、多品種小ロットの案件が増えてきたこともあり、当

社でもそのニーズに応えるべく、延反・裁断を自動化した縫製ラインの新設を検討することとしました。具体的には、自動延反機と自動裁断機の導入により延反・裁断の自動化を行い縫製ラインの工数削減と生産性の向上、多品種小ロットへの対応、国内メディカル・新縫製品分野等への短納期受注への対応が挙げられます。

INTERVIEW



縫製の企画から生産までを一貫して行う総合縫製企業

株式会社富樫縫製 代表取締役 富樫三由

当社では、縫えるのは布地だけではなく。靴をはじめ、革製品、工業用各種素材その他なんでもお取り扱いしており、企画段階から参画もしております。

縫製という一つのプロセスにとどまらず、企画への参画から、パターン作成、サンプリング、グレーディングから生産に至るまでトータルプロデュースが可能です。

通常多くの縫製工場では、パターン作成からサンプリング、グレーディングのいずれかの作業を請け負い分業して行っていますが、当社ではパターンの作成からグレーディングまでの作業を一環して行えることが特長です。

小ロットの製作から大量生産まで対応可能です。他社で断られてしまったものでもまずはご相談ください。

実施内容

延反、裁断の一環作業で増産と多様化に対応する

多様化するニーズに対応するため、通常の生産体制のほかに延反・裁断を自動化した縫製ラインの新設しました。

このことで縫製ラインの延反・裁断作業の一体化に伴い一貫作業が可能となり、増産・多様化に対応が可能になりました。それに伴い、裁断精度の向上や省力化、工数削減など、より多品種素材の裁断が実現できるようになりました。

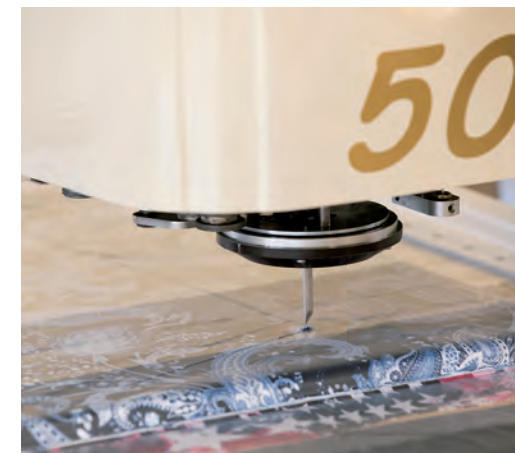


事業の成果

新ライン導入で作業負担の軽減と自動化により作業効率がアップ

今回の導入した自動延反機はバイブレーターをかけながら無テンションで置いていくシステムなので、伸びが少なく製品の仕上がり寸法の精度が向上しました。

従前機では、反物を機械の頭頂部にセットするため、介護用ベツカバーの反物は重く、女性ではセットできませんでした。自動延反機は反物投入口がバックヤードにあり床から 0.7 m であるため女性・高齢者でもセットできるようになりました。また延反から裁断に移行するには裁断時、耳揃えが必要でありましたが、自動化した縫製ラインは一貫作業が可能となったので耳揃え工程が省け工数軽減ができました。さらに自動裁断機はエアータブルブラシとピックアップ爪の改良をメーカーに申し入れ検収期間に改善したため薄物、厚物、両素材の裁断が可能になりました。



FUTURE OUTLOOK

厳しい競争を勝ち抜く戦略を立て、海外でも成功をつかむ

本補助事業において、多品種少量生産を実現させるため、延反・裁断を自動化した縫製ラインの新設を実施した結果、延反・裁断の自動化で縫製ラインの工数削減され、およそ 20% の生産性の向上等が実現できました。また、多品種少量生産で、国内メディカル・新縫製品分野等への短納期受注にも対応できるようになったことも、大きな成果だと考えております。

今後、海外向けは厳しい市場ではありますが、コスト競争力に勝ち抜く戦略を打ち立ててまいります。

